

令和4年度

事務事業評価表(令和3年度の実績評価)

記入年月日
令和4年4月15日

事務事業名		全国報徳研究会市町村参画事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020202000608
						単独/補助	単独		090601
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	生涯学習課
総合計画の施策名		O202 生涯学習・芸術文化活動の推進						課長名	
政策名		O2 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	生涯学習G
施策名		O2 生涯学習・芸術文化活動の推進						担当者名	
手段名		O2 ②親しみを感じる文化振興の推進							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	03	01	00	単年度繰返し(昭和63年度~)		
法令根拠							文化振興事業		
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要(事務事業の全体像)	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>全国の二宮尊徳ゆかりの市町村で構成し、報徳思想に学び、混迷した社会を切り開くとともに自治体の行財政改革をすすめる、地方分権の時代に備えたまちづくり・ひとつづくり等について協議するとともに、二宮尊徳の生涯や考え方を周知するための活動を行うことを目的とし、年1回報徳サミットを各市町村持ち回りで開催している。(令和元年度 茨城県筑西市、令和2年度新型コロナウイルス感染症により中止、令和3年度 静岡県掛川市、令和5年度 福島県相馬市、令和5年度 静岡県御殿場市、令和6年度 桜川市)</p> <p>現在は17市町村が加盟 ○福島県南相馬市・相馬市・大熊町・浪江町・飯館村 ○茨城県筑西市・桜川市 ○栃木県日光市・真岡市・那須烏山市・茂木町 ○北海道豊頃町 ○神奈川県小田原市・秦野市 ○静岡県掛川市・御殿場市 ○三重県大台町</p>	<ul style="list-style-type: none"> 郷土史家館野義久講師との連携、連絡調整 報徳サミット大会に参加者を募集(市広報紙・大和郷土史会) サミット参加市長・議長・講座生の参加連絡調整 サミット参加のため、市庁用バスの運行 防災協定に関して防災課との連絡調整

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 郷土史家館野義久講師との連携 報徳サミット参加者を募集 市長、議長等の参加調整 	サミット参加回数	回	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
加盟17市町村 各加盟市町村市民	桜川市人口	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
	加盟市町村	市町村	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
尊徳仕法を学びまちづくりを考える	サミット参加者数	人	0.00	54.00	680.00	680.00	680.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	0	20	139			
	事業費計(A)	千円	0	20	139			
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

03年度事業費実績(千円)

04年度事業費予算(千円)

事業費の内訳	03年度実績	04年度予算
18 負担金補助及び交付金	20	
08 旅費		56
13 使用料及び賃借料		39
18 負担金補助及び交付金		44
合計	20	139

事務事業名	全国報徳研究会市町村参画事業	事務事業No.	20202000608	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成8年頃、旧大和村で開始した事業で二宮尊徳ゆかりの市町村が一堂に集い、報徳仕法を活かしたまちづくりを目的に開始した。現在は市町村合併が進み数的には参加団体数が減っている。また、近年は参加者の高齢化、固定化が進んで新規参加者が少ない。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
合併を機に旧大和村に限らず市民全体に認識を高めるため、全地区や学校で啓発活動など二宮尊徳仕法講座を続けてほしい要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 防災協定が締結されたため、他自治体との連携推進については一定の役割を果たしている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市町村間の連携事業である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 住民同士の連携に乏しい構成となっており、是正を行う必要がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 防災協定を締結しているため、脱会の際は影響がある。
改革改善を行う	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
有効性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最低限の事業費で行っており、削減余地がない。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 広く市内から募っているが、応募者の固定化、特定の地区への偏りがみられる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	例年、市の広報で募集しているが、近年参加者の高齢化、固定化によりサミットの方向性として住民交流の活性化は期待できない状況である。また、令和3年度は報徳サミット史上初となるオンラインでの開催となった。桜川市での開催時期は令和6年度になるため、令和5年度から開催に向けた準備が必要である。																		
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
令和2年度は中止、令和3年度はオンラインでの開催となり、市民が報徳サミットに参加できない年が続いた。そのため、報徳思想に対する市民の意識が薄れていることが懸念される。令和6年度には桜川市が報徳サミットの事務局となるため、市内全域を対象に二宮尊徳の映画上映等の企画を進め、市民の意識向上及び報徳思想の啓発を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	向上		○		低下			
成果	向上	コスト																		
		削減	維持	増加																
維持	向上		○																	
	低下																			
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認